

**第3回防災豆知識クイズ、
全問正解に挑戦してください。**

問い合わせは 防災対策課（☎22-9191）へ

【防災知識クイズ】

問題1 ○×でお答えください。
海溝型地震は海側のプレートが陸側のプレートの下に潜り込み、陸側のプレートに歪みが発生し、耐えきれなくなったプレートが跳ね上がることで地震が発生する。これが海溝型地震であり、南海トラフ巨大地震もこの海溝型地震である。

問題2 ○×でお答えください。
熊本地震は、日本列島を乗せている陸のプレートの内の岩の層が壊れてずれることにより、発生する内陸型地震である。地下約5から20キロメートルの浅いところで発生し大きな被害をもたらす。この内陸型地震を引き起こす原因が「活断層」と呼ばれる断層である。

問題3 ○×でお答えください。
プレート内の岩盤には多くの割れ目があり、通常は強くかみ合っているが、再び壊れてずれる現象を「断層活動」といい、数十万年前以降に繰り返し活動した形跡が地形に残り、将来も活動して地震を発生させると考えられる断層を活断層といい、徳島県にも活断層が存在する。

問題4 正答をお選びください。
① エコノミークラス症候群とは、旅客機のエコノミークラスの乗客に多く発生し、長時間窮屈な場所ですぐに下肢を動かさずにいると血行が悪くなる現象であり命に別状はない。

② 太ももから膝にかけての静脈に血の塊が生じて、一部が血液の流れに乗って肺の血管を閉塞し、呼吸不全をきたす場合がある。時には死亡に至る場合もあり、正式名は急性肺血栓塞栓症という。

問題5 正答をお選びください。
① 地震によって火災が発生し、家屋が全焼した場合は、火災保険に入っていれば保障される。

② 地震保険は、地震等による被災者の生活の安定に寄与することを目的としており、地震、噴火、津波による火災、流失、損壊、埋没による損害を補償するものである。契約金額、居住地によって掛け金が設定され、建物では全損、半壊、一部損によって契約金額に対する支払額の割合が決定されている。

【回答・説明】

問題1
正解は○。プレートが跳ね上がった地震が発生し、跳ね上がったプレートが海水を持ち上げることで津波が発生します。日本列島は複数のプレートが接する境界に位置しており、マグニチュード6以上の地震の約2割が日本周辺で発生しています。

問題2
正解は○。プレートが跳ね上がる時に陸上のプレート内部で岩盤が破壊され断層が帯状に生じている場所があり、この断層のズレにより地震が発生します。過去に断層が動いた形跡がある岩盤層が活断層です。断層上の地域では直下型地震となり、下から突き上げるような縦揺れが特徴です。

問題3
正解は○。大都市周辺の地下では調査も困難であり、現時点では判明していない断層が全国に多く存在するといわれています。現在日本列島では2000以上の活断層が見つかっており、県内では中央構造線断層帯等が存在します。

問題4
正解は②。熊本地震では、エコノミークラス症候群で入院が必要とされた患者数は約50人と報道されました。災害時に車中での避難生活が原因となつて発病することが多いですが、避難所生活でも運動不足、水分不足になると発生しやすく、高齢者は生命にかかり特に注意が必要です。

問題5
正解は②。火災保険では、地震、津波による火災は支払われません。地震に起因する火災は地震保険で支払われるので、地震保険とセットでの加入が万全です。

地震保険は、民間保険会社が負う地震保険責任を政府が再保険し、再保険料の受け入れ、管理、運用のほか巨大地震発生の際には再保険金の支払いを行うために地震再保険特別会計において区分経理されています。政府が支払う再保険金の総額は国会の議決を経た金額を超えない範囲内のものであり、平成28年4月現在では10兆9902億円で民間保険責任額との合計では11兆3000億円と

のことです。保険料は木造か非木造か、居住している都道府県の地震発生リスクを基にして算定され、被災すればすぐに生活難に苦しみますが、地震保険で当面の生活資金を賄えれば苦境も回避できることとなります。